

令和元年度



赤木小だより

令和2年 2月20日 No.18 文責 校長 鈴木 久

《3学期：赤木の子どもは》

人・もの・できごと
に感謝し、感謝の
心を行動で表す
ことのできる子ども



2月19日、待ちに待った学校給食が再開されました。

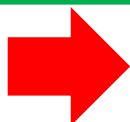
市教委学校管理課の指導の下、栄養士を中心に調理員（東部）による大がかりな清掃や施設設備等の搬入、新しい機械の操作と調整、試運転や保健所の検査、食材の調達など、本当に多くのご苦勞をおかけしました。

給食の先生方には、給食再開に間に合わせようと身を粉にして働いていただき感謝の気持ちでいっぱいです。また4ヶ月に渡って仕出し弁当と味噌汁を提供していただいた業者（ランチボックス・商工給食）方々へも心より感謝申し上げます。

再開後のはじめてのメニューは、子どもたちが大好きな「カレー」でした。どの子も笑顔いっぱい、待ちに待った学校給食のありがたさを噛みしめながら味わっていました。



内堀知事が学校施設
を視察に来校されたときも給食室の現状を見ていただき被害の状況に驚かれておりました



あれから4ヶ月で学校給食が再開されました



6年生最後の思い出づくりのためのスキー教室を2月17日（月）から1泊2日の日程でヴァイラ・イナワシロで行って来ました。生憎、猪苗代スキー場には雪が少なく、予定を変更して沼尻スキー場で行って来ました。どの子もスキーの技術の向上はもちろん、本教室のねらいである団結・協力・感謝・友情の絆を深めてくることができました。

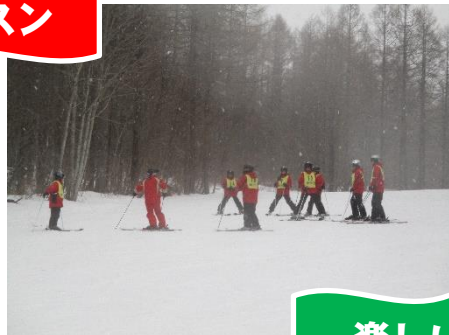
保護者の皆様のご理解とご支援ご協力に感謝申し上げます。



雪慣れ・雪遊び



スキーレッスン



楽しい食事



交流活動



スキーを通して6年生と共に過ごした2日間は、先生方も心に残る楽しい思い出となりました。優しさ、思いやり、ひょうきんさ、仲間意識、素直さ、聞き上手、一生懸命さが皆さんのよさですね。